

平成29年度 町の予算

総額 241億9,972万円

今年度の概要

平成29年度の予算は、2月に町長選挙が行われたことから、義務的な経費や継続事業の経費を中心に編成された「骨格予算」となります。新規事業や投資的経費などの「政策的経費」は、今後、補正予算として計上する予定です。

骨格予算は通常より規模が小さくなりますが、平成29年度の予算は、昨年4月に発生した熊本地震からの復旧・復興のための予算を必要経費（一般会計57億27万円）として計上しているため、通常より大きな予算規模になっています。

当初予算額は一般会計で168億6,779万円です。対前年比40億375万円、31.12%の増額です。特別会計と合わせると241億9,972万円で、前年度の当初予算より35億8,560万円、17.39%の増額となっています。特別会計予算の総額は、73億3,192万円で前年度に比べると4億1,815万円の減額です。

【骨格予算とは？】

2月に町長選挙が行われて、新町長が就任直後のために、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算のことです。

骨格予算の内容

- ① 扶助費、人件費、公債費などの「義務的経費」や、施設管理費等の「経常的経費」
 - ② 債務負担行為を設定している事業など、継続して実施する事業。
 - ③ 年度当初に予算がなければ、事業執行に支障をきたすもの など。
- ※熊本地震の復旧・復興のための経費は、必要経費として当初予算に計上しています。

平成29年度熊本地震関連の主な事業

●災害廃棄物の処分や被災家屋解体の費用



42億1,908万円

●被災した宅地の復旧を補助



5億1,268万円

●住宅の応急修理のための費用



4億464万円

●一部損壊世帯への見舞金や災害関連死の審査などの費用



1億58万円

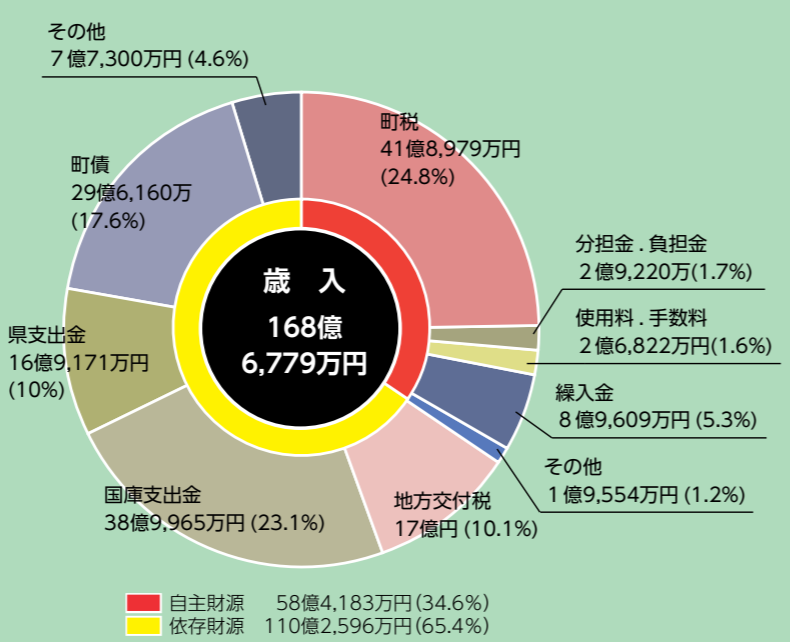
平成29年度 予算規模

会計名	予算額	対前年比
一般会計	168億6,779万円	+ 31.12%
特別会計	国民健康保険特別会計	34億4,821万円 - 4.55%
	大津町外四ヶ市町村共有財産処分特別会計	3,375万円 + 47.29%
	公共下水道特別会計	8億4,016万円 - 31.74%
	介護保険特別会計	25億1,026万円 + 6.39%
	農業集落排水特別会計	1億4,404万円 + 2.96%
	後期高齢者医療特別会計	2億9,658万円 + 5.97%
工業用水道事業会計	5,892万円 - 43.69%	
合計	241億9,972万円	+ 17.39%

歳入

自主財源は前年比1億7,699万円(3.1%)の増です。町民税は熊本地震による個人住民税の雑損控除等や法人税の事業休止等による減を見込み、2億6,066万円(-5.9%)の減額となっています。繰入金は財源不足により基金を取崩したため、前年度比4億655万円(83.0%)の増額となっています。

依存財源は前年度比38億2,676万円(53.2%)の増額です。国庫支出金・県支出金は災害廃棄物処理事業、被災家屋の解体、住宅の応急修理などの財源となる補助金により24億1,907万円の増です。町債は14億970万円(90.8%)の増額で、熊本地震の復旧のために借り入れるものです。



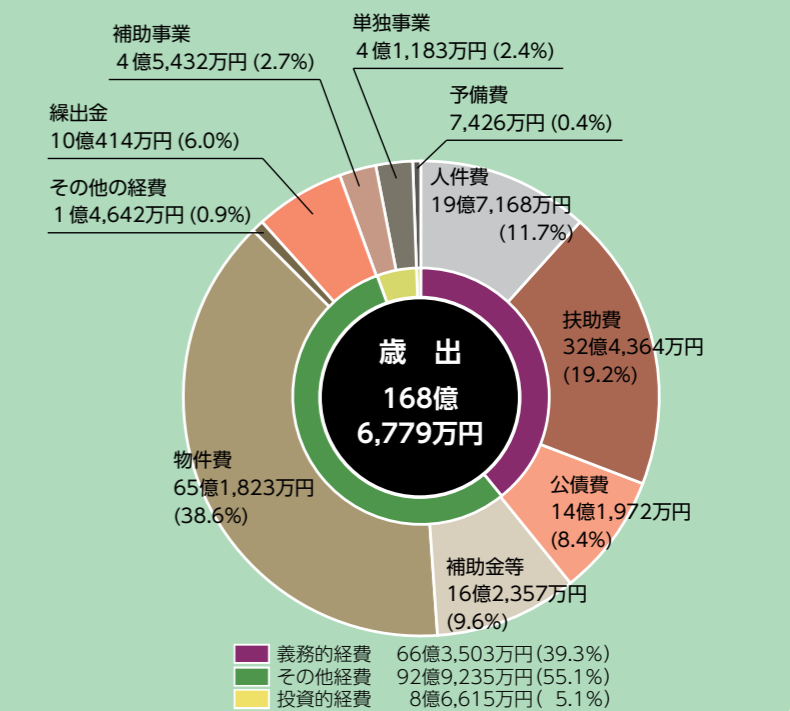
歳出

増額の主なものについては、熊本地震による災害廃棄物処理事業や住宅の応急修理事業で物件費が49億1,159万円の増額となっています。

減額の主なものについては、投資的経費の補助事業で11億6,202万円の減額です。

骨格予算のため、政策的な事業である道路の新設・改良や社会資本整備総合交付金事業の予算を計上しなかったことによるものです。

また、あけぼの団地の改修事業などは、地震のため平成28年度に実施できなかった分を平成29年度に繰越して行うため、29年度予算には計上されていません。



※1万円以下は四捨五入しています。合計は端数処理により合計が合わないこともあります。